

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
Q101	観光学総論	1年	講義	2	小澤俊雄
<p>授業概要</p> <p>観光を総合的に学習する事を目的とし特に観光業界の歴史及び現状を把握の上で今後の観光関連業界の方向性等も予測したいと思えます。観光関連業界を志望する学生だけでなく地域振興や環境問題へ関心の高い学生にも有益な講座と成る様な授業内容の講義を行う。各種資料を配布し DVD・写真等を活用する。旅行業界で重要な国家試験「旅行業務取扱管理者」を受験しようとする者に対しては適切な受験対策指導を行う。尚、講義13回目&14回目は(株)JTB 関東 法人営業宇都宮支店のご協力を頂き同社のスタッフによる旅行業界及び関連業界の現況に関する説明を受ける事により観光業界全般を把握する。</p>					
<p>到達目標(学習の成果)</p> <p>観光及び関連業界を志望する受講者には進路を判断する際の指針となる様な具体的な知識を習得。他業界を志望する受講生には自らの旅行を計画する際の旅行実務知識や旅行関連法規の習得等により実りの有る旅行を実行又は友人・知人等の旅行者に対する的確なアドバイスを提供出来る様な知識を習得する事を到達目標とする。更に国家試験「旅行業務取扱管理者」を目指す者には受験対策に関して適切なアドバイスを行い合格する事を目標とする。(DP2)</p>					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	観光学入門	「観光」の語源・「観光」の定義・「観光」関連用語・観光研究の分野			
2	観光の現代的意義	観光の位置付け・観光の経済効果と経済外的効果・観光公害・観光のデメリットの克服			
3	観光の歴史	国内外の歴史・東京オリンピック→大阪万博後の歴史			
4	我が国における国内旅行の現状	国内観光旅行の推移及び市場規模と現状並びに展望			
5	我が国における海外旅行の現状	海外観光旅行の推移及び市場規模と現状並びに展望			
6	我が国における様々な旅行の形態	色々な観光旅行の実態(教育旅行・新婚旅行・家族旅行・熟年旅行等)			
7	我が国における外人旅行の現状	訪日外国人旅行の推移及び現状と展望			
8	国内における観光対象と観光資源	国内の主要観光資源(世界遺産等)及び観光資源の保護・観光施設等			
9	海外における観光対象と観光資源	海外の主要観光資源(世界遺産等)及び観光資源の評価・観光施設等			
10	運輸・宿泊機関等の概要	国内運輸機関・宿泊施設等概要及び現状			
11	旅行業界等の概要	旅行業界・関連業界の推移及び現状と展望			
12	観光関連法規の概要	旅行業法令&標準旅行業約款・国際観光ホテル整備法等の概要及び要点			
13	旅行現場の業務内容	法人・個人・インバウンド・アウトバウンド・地域活性など業務内容紹介			
14	旅行業界が求める人物像	旅行業界(ツーリズム産業)で求められる人物像について			
15	観光政策と観光行政	観光政策の推移及び観光行政の現状と将来			

準備学修(授業外の自己学修)

前回の講義範囲についての復習(教科書&レジュメ)及び授業計画で示された教科書の範囲を読んでおくこと。
配布した資料とテキストの学習済範囲を照合しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

定期試験(60%) + 出席・授業態度(40%)を総合して評価

観点	S	A	B	C
観光関係用語に関する理解	完全に理解出来ている	ほぼ完全に理解出来ている	十分に理解出来ている	一定程度理解出来ている
観光の歴史に関する理解	完全に理解出来ている	ほぼ完全に理解出来ている	十分に理解出来ている	一定程度理解出来ている
現在の観光政策及び将来の展望に関する理解	完全に理解出来ている	ほぼ完全に理解出来ている	十分に理解出来ている	一定程度理解出来ている

教科書

(株)JTB 総合研究所 発行:「観光概論」(2017年2月発刊 第10版) ¥2447(消費税別)

参考書等

国土交通省「観光庁」発行:「観光白書」・日本観光振興協会編集:「数字でみる観光 2018」・主要各国の政府観光局ホームページ
一般社団法人 日本旅行業協会 発行:「数字が語る旅行業 2018」

履修上の注意・学修支援

配布するレジュメは講義日以外にも使用する事が有りますので毎回講義日に持参願います。

日頃より観光関係の記事(新聞・TV・インターネット HP 等)に注意を払い必要に応じてファイルして下さい。

20 分以上の遅刻は欠席とみなします。

遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。